

次のステージに向かって

新年あけましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症感染拡大が心配される状況が続いていますが、可能な限りの感染拡大防止策を講じながら、西中の教育活動を進めていきます。引き続き、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

さて、年が明けて、令和2年度も残すところ3か月ほどとなりました。この3か月は、次のステージに向かうための最終的な準備期間であると言えます。

3年生は、中学校を卒業し、高等学校等に進学をします。義務教育の終了を迎えますので、進学先を自分の力で獲得する必要があります。進学先の入学学力検査・入学試験で合格を得なければなりません。まもなく、3年生は入試シーズンに入ります。1月後半の私立高校専願入試をかわきりに、1週間ほどのサイクルで様々な入試とその合格発表ならびに合格手続きが次々と行われていき、中学校卒業式後まで続きます。そして、入試・合格発表・合格手続きを経るのは同じですが、その時期は個々がめざす進学先で異なります。



これまで経験したことがない緊張した日々を過ごすこととなりますが、だからこそ共に切磋琢磨し共に成長してきた“なかま”の力が求められます。進学先や決定する時期が違ってても、“なかま”の合格を心から喜び、全員が進学先を獲得するまで“なかま”を応援する3年生であってほしいと願っています。そのために、3年生の一人一人がこの3か月でさらに自分に磨きをかけてください。それは、日々の学校生活における一場面一場面でさらに自分を高めることを試み、行動に移します。例えば、日常的な所作、掃除、授業中の態度、給食の準備・後片付けなどで、「場面に応じた言葉づかいをする」、「手をそえて履物をそろえる」、「すみずみまで掃除する」、「今までよりもさらに集中して自ら話を聴く」、「準備・後片付けを丁寧かつ短時間で行う」などが挙げられます。これらは、入試で行われる面接でも役に立ちますし、次のステージである高等学校等でもその後の人生でも大いに役に立ちます。何より、この3か月間でこれまでにない成長を遂げることができます。このことは、これまで出会ってきた卒業生の多くが証明してくれています。

2年生は、4月から3年生になります。西中学校の最上級生であり、学校のリーダー的な存在となります。次のステージでは、「先輩」である現3年生が卒業してしまうので不安があるとは思いますが、だからこそ“なかま”の力が求められます。そのために、先述した3年生と同様、2年生も一人一人がこの3か月でさらに自分に磨きをかけてください。合わせて、視野を広くもつことを意識してください。自分のことはもちろんですが、今まで以上に“なかま”を大切にしてください。現1年生や入学してくる新1年生のことを意識し、「後輩」を育て、その成長を喜び、温かく見守る「先輩」になってください。そして、学級・学年はもちろんのこと、学校全体を意識し、西中生全員が安心して過ごすことができ、自分の力を伸ばしたり、発揮したりできるように、2年生のもてる力を生かしてほしいと願っています。

1年生は、4月から2年生になります。西中学校の中堅学年であり、これまでと大きく異なるのは「先輩」と呼ばれる立場になることです。「先輩」はある意味大変です。これまでは、自分のことを主に行動していたのが、「後輩」を育てる役を担うこととなります。例えば、部活動での練習において、自分の練習だけでなく、場合によっては自分の練習時間をさいて、「後輩」に教えたりすることになります。しかし、「後輩」

を教えたりすることで自分も学ぶことが多くあり、結果的に「後輩」だけでなく、「先輩」である自分の力を伸ばすこととなります。そのために、先述した3年生と同様、1年生も一人一人がこの3か月でさらに自分に磨きをかけてください。そして、「先輩」である現2年生や3年生からたくさんの方の良さを“なかま”共に学びとってほしいと願っています。

目標達成!

(文責 木村彰男)

～ 自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること ～